



2019年12月19日

各位

会社名 株式会社大光
代表者名 代表取締役社長 金森 武
(コード番号: 3160)
問合せ先 常務取締役管理本部長 秋山 大介
兼総務部長
(TEL. 0584-89-7777)

業績予想の修正に関するお知らせ

2019年7月11日に公表いたしました業績予想について、下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

2020年5月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年6月1日～2019年11月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	32,100	127	150	80	6円04銭
今回修正予想(B)	31,592	121	148	66	5円06銭
増減額(B-A)	△507	△5	△1	△13	
増減率(%)	△1.6	△4.5	△0.7	△16.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年5月期第2四半期)	30,771	239	274	172	13円02銭

2020年5月期通期連結業績予想数値の修正(2019年6月1日～2020年5月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	65,300	660	710	450	33円96銭
今回修正予想(B)	64,200	520	570	325	24円53銭
増減額(B-A)	△1,100	△140	△140	△125	
増減率(%)	△1.7	△21.2	△19.7	△27.8	
(ご参考)前期実績 (2019年5月期)	62,911	649	704	415	31円38銭

修正の理由

当第2四半期累計期間の連結売上高につきましては、外商事業において外食チェーンをはじめとする既存得意先の売上が想定を下回っていることから、業績予想を下回る見込みとなりました。

利益面につきましては、売上高が業績予想を下回ったことに伴い売上総利益が減少することや、仕入価格や物流費の上昇などにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は業績予想を下回る見込みとなりました。

通期の業績予想につきましては、外食産業を取り巻く環境が引き続き厳しくなることを予想し、外商事業において外食チェーンをはじめとする既存得意先の売上減少を見込むとともに、人件費や配送費など固定費の削減が見込めないことから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回発表予想を下回る見込みであります。

※ 本資料に記載されている業績予想は、発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上